

一切経山山行報告



【山行日】2018年 8月 25(土) 晴れ時々雨
【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00
【費 用】マイカー2台 : 4,100円
【メンバー】CL: 鈴木ユ、安西、伊藤、岩渕、大西、岡、
梶内、島田、鈴木ヒ、五月女、福島、福田タ、藤原、
【コースタイム】栃木市運動公園 P4:00＝浄土平
P7:30/8:20～酸ヶ平避難小屋 9:10/9:20～一切経山
10:00/10:15～酸ヶ平避難小屋 10:50/11:30～鎌沼
11:50～浄土平 P12:30/12:40＝道の駅「つちゆ」
13:10/13:20＝直売所「くだもの畑」13:30/13:50＝
栃木市運動公園 P16:00

アンケートで今年も一切経山へ登りたいというリクエストがあり、季節を変えて8月に計画した。東北道を北上し福島西ICで降り、国道115号線からフルーツラインを通り浄土平登山口を目指す。県道70号線に入ると、道路脇に「不動沢～浄土平間通行止め」の看板が目に入る。スマホで道路状況を確認すると、この先の不動沢から道路崩壊により通行止めの様子。車を止めて地図で確認し、Uターンして土湯から土湯峠を経由して行くことにする。かなりの遠回りになるが、行かなくては一切経山に登れない。吾妻スカイラインを走っているときは晴天で、これなら美しい「魔女の瞳」が見られるだろうと期待して走った。50分遅れて浄土平に着くと風は強かったが晴れていて、一切経山や吾妻小富士が良く見えて皆喜んでいた。ところが靴を履き替えトイレを済ませ、ストレッチを始めたら雨が降ってきた。急いでレストハウスの広い軒先に移動し、雨の様子を見ることにする。15分くらいで小降りになり、歩き始めるとまた降り出しビジターセンターで雨宿りする。ビジターセンターの展示室を見学し、係の方に天気を聞くと事務所のパソコンで雨雲の動きを見せてくれた。9時頃には



雨雲が一旦過ぎ去るが、その後新潟県に掛かる雨雲が移動してくるかもしれないとの事。雨が小降りになり、出発する。登山口から山道に入り、右側に一切経山を見ながら酸ヶ平へと登って行く。灌木帯の登山道を登ると、道の両側にアキノキリンソウやオヤマリンドウ、ヤマハハコ等の花が目を楽しませてくれる。登りが一服すると傾斜が緩やかになり、木道を歩くようになると酸ヶ平へたどり着く。まもなく分岐を右に進み、少し登った所に酸ヶ平避難小屋が建っている。

休憩を取りトイレを順番に済ませ、小屋に必要無い荷物をデポして山頂へ向かう。ここからは健脚組とのんびり組の2班に分け、健脚組の8名が先行して登る。小屋からは沢筋を登り、岩と火山灰の歩きにくい斜面を登って行く。広いガレた稜線に出ると、一切経山山頂が目の前だが風が強く体がふらついた。時々ガスが晴れ、右下に吾妻小富士の噴火口が見え歓声が上がる。風に後押しされながら、大きな石積みと祠がある山頂に着いた。晴れていればさえぎる物のない大展望が得られるが、今日は強風とガスで立っているのも難しい。それでも時折ガスが晴れ、山頂の北側から「魔女の瞳」を望むことが出来た。のんびり組の5名が山頂に着き、全員で記念写真を撮り K 内さんのいちじくや菓子を食べ下山する。往路を戻るが登山者が、次々に山頂目指し登って来る。避難小屋まで戻り、風が強いので時間は早いがランチタイムとする。キノコ汁を作りおにぎりをいただき、笹かまぼこやホタテ風味のかまぼこ等を美味しく食べた。昼食が済んだら鎌沼に向かうが、4名は往路を戻って浄土平へ真っ直ぐ下山する。9名は鎌沼の畔をたどり、姥ヶ原へ向かって木道を歩いて行く。



ところが鎌沼の畔まで進むと、また雨が激しく降ってきた。急いでレインウエアーを着るよう指示し、雨の中で皆さん素早く着ることが出来た。「雨なので往路を戻り浄土平へ行きます」と言うと、「せっかくレインウエアーを着たので姥ヶ原へ行きたい」と頼ましいいお言葉。皆さんが雨でも歩きたいと言うのなら行きましょうと、予定通り姥ヶ原をめざし歩いて行く。皆さん雨の中を歩くのが楽しそうで、「初めてレインウエアーを着たので、良い経験が出来た」と喜んでいる。下りの木道は滑るので注意

するよう促し、周りの景色を楽しみながら姥ヶ原に着く。分岐を左に進み、浄土平に向かって降りて行く。えぐれた登山道を下って行くと酸ヶ平からの道と合流し、間もなく浄土平の駐車場に着いた。レインウエアーを脱ぎ、靴を履き替えたら帰路につく。途中、道の駅「つちゆ」に寄り、飲み物やお土産を買う。その後国道115号線の果物直売所「くだもの畑」に寄るが、ここのサービスが凄かった。梨や桃を自分たちでむいて試食させ、飲み物や桃のサラダ、キュウリの漬物、温泉卵などを次々に出される。これだけ食べちゃ申し訳ないと思い、つつい梨と桃をお土産に買ってしまった。なんともお客の心理をうまくつき、気分よく買わせてしまう商法に乗せられてしまった。でも、車の中でもこの話で盛り上がり、お蔭で退屈な車中を楽しく過ごすことが出来た。道路情報の確認不足でスタートが遅れたが、皆さんに「強風や雨の良い体験ができ楽しかった」と言っていたき、我輩の気持も救われながら栃木市運動公園に帰着した。